

『時事直言』 No.1673 2024年5月28日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

都知事選に出馬表明した蓮舫

立憲民主参議院議員の蓮舫が都知事選への立候補を表明した。

2020年の都知事選で366万票を獲得した小池は今や、かつての腹心から学歴詐称隠蔽事実の暴露で追い詰められ、さらに都議選で支援した議員が補欠戦で敗れた。

自民主流の実力者羽生田との密談は、駄目な岸田を小池に入れ替える為の工作かなどと噂されるなど元自民の小池の自民寄り疑う余地はない。

蓮舫は今まで都知事選に推されてきたが辞退し続けてきた。

しかし衆議院補欠選、都議会議員選、地方知事選の結果を見て「自民にあらざる者は人にあらず」の時代が終わったことを悟り「無敵の小池」の時代も又終わると判断しての立候補だろう。

蓮舫は「オール東京」の支持を願い、無所属で立候補し、立憲民主離党を考えているようだがとんだ間違いである。

度重なる立憲民主の勝利は「自民でなければいい」という消去法の結果であることは確かであるが、諸選の結果立憲民主の支持率が急増してきていることも事実である。

正に第一党の無党派層は、どの党を支持しますかと聞かれて答えられなかっただけで、どの党が好きでどの党が嫌いなわけではない。

投票日には無党派層は時代の流れに従うものである。

自民が駄目なら自民の候補者に投票する数は少なくなる。

蓮舫が立憲民主を離党すれば蓮舫はただの人になり、立憲民主の支持層と自民に代わって立憲民主に投票しようと考えている無党派層から「何故なのか」と疑われる。

たぶん誰にも「どうせ姑息な考えだろう」と思われるだろう。

蓮舫が立憲民主を捨てて、ただの人になれば頼れるのは「人気」だけである。

果たして蓮舫は人気で小池に勝てるだろうか。

小池に人気で若干負けても登り竜の立憲民主の看板を背負っていればプラスになることは確かである。

自民に頼られる緑のスカーフと戦う蓮舫はオートクチュールの白のジャケットとテラー立憲民主の白のジャケットのどちらを着るのか。

蓮舫は、自分はテラーではないことを知るべきである。

ジャケットを作ってくれたテラーの客であることを忘れてはならない。

党が駄目になるとどんなに立派な人物であっても駄目になる。

増田家の家訓は「波に乗って巧みに泳げ」である。

巧みに波に乗り続けて来た今日の小池が、こともあろうに引き潮の自民の波に乗ってしまった。

人は満ちては退く波に逆らったら生きて行けない！

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。